

## 2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<p>充実した授業を通して、学力の向上を目指す。</p> <p>①分かる授業・楽しい授業を実現するために生徒を考えさせる授業展開を行う。</p> <p>②各教科を通して言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育む。</p> <p>③地域の人材や教育力を活用し、各教科や総合的な学習の時間の系統的充実を図る。</p> <p>④朝読書や図書館の積極的活用を促し、読書活動を推進する。</p>

授業改善の重点
<p>①基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着を通して、基礎学力の向上を図る。</p> <p>②言語環境の整備と言語活動の充実、問題解決的な学習及び自発的な学習の促進を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。</p> <p>③学習課題への興味・関心を高め、学習理解を支援するためにICTを活用した授業を推進する。</p>

各教科の指導の重点	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点
	<p>①言語活動の充実を目指し、文章を読んで考えたこと(意見や感想)を生徒同士で伝え合い、共有する時間を多くとり、発表の方法などを工夫することで生徒の思考力や表現力を養う指導を充実させる。</p> <p>②言語に関する基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る指導を充実させる。</p>	<p>○評価のポイントを課題毎に生徒に明示し、生徒が目的をもって授業に臨めるようにする。</p> <p>○鑑賞と表現の内容に関連性を持たせ、生徒にとってわかりやすい授業を目指す。</p> <p>○けが、事故防止のために教室環境を整備する。</p>	<p>各学年、テーマに基づいた課題解決学習、探求的な学習、体験活動を通して、主体的に判断し、協働的に取り組む態度を育成する。</p>	<p>生徒一人一人に人権の尊さと自他の生命の大切さを認識させるとともに、豊かな情操や感性を育て、優しさや逞しさにあふれた生徒の育成を図る。</p>
	社会科	保健体育科		
	<p>①ICTの活用を図り、全ての生徒にわかりやすい授業を目指す。</p> <p>②授業と身近な社会との関連をはかることで、丸暗記からの脱却をはかると共に、時事問題に対する関心・意欲・態度を育てる。</p> <p>③レポート・プレゼンテーション・ディベートなど、思考力や表現力を育む指導を充実させる。</p>	<p>○ICTを活用し、興味・関心を持たせるとともに、視覚化することで学習効果を高める。</p> <p>○学習カードを活用することにより、授業内容の振り返りと、各自の課題が解決していけるように、具体的なアドバイスをしていく。</p> <p>○各種目でオリンピックとの関連を図り、オリンピック教育の充実を目指す。</p> <p>○各単元で集団の育成を通して個の育成を目指す。</p>		
	数学科	技術・家庭科	特別活動の指導の重点	
	<p>①授業のねらいを明示する。</p> <p>②基礎・基本の充実を図るため、計算においては反復練習をさせる。また、図形的分野において、立体図形などでICT機器を活用し、立体的・空間的認識をさせるようにする。</p>	<p>【技術】</p> <p>①けがや事故がないように、教室整備を進める。</p> <p>②製図や作図等を活用し言語活動の機会を増やす。</p> <p>③創造力や発想力を養う指導を充実させる。</p> <p>【家庭科】</p> <p>①作品製作や実技テストを通して生活力を身につけさせる。画像や見本を用いて理解力が深まるようにする。</p>	<p>集団の一員としての自覚を深め、協力しあい、お互いに成長できる集団の育成を図る。</p>	
	理科	外国語科		
	<p>①授業のねらいを明示する。</p> <p>②実験・観察を通じ、興味を引き出すとともに、レポート作成を通じ、自らの考えを表現することで、言語活動を充実させる。</p>	<p>①1時間の授業を4技能を使った内容で構成していく。</p> <p>②教育機器を効果的に活用し、授業展開をスムーズにする。</p> <p>③パフォーマンステストを定期的に取り入れ、積極的にやり取りを行えるようにする。</p> <p>④生徒同士の言語活動の時間をできるだけ多くとるために、少人数授業を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</p>		
音楽科	<p>○子どもが主体的に意見を発表することができる環境をつくる。</p> <p>○話し合いの場を設け、間違えたり失敗することを認め合える授業を行う。</p> <p>○音楽に対する思考力を養う。</p>			

ICT機器の活用	発問の工夫	認め合う学び合う集団形成
<p>本校の授業改善に向けて</p> <p>生徒の理解を深めるために、ICT機器やワークシートなどを積極的に活用する。併せて、個々の学習達成度に応じた個別学習の助けとなるように、navima等のツールを活用した指導を行い、各教科においてデジタル教科書や実物投影機などで視覚的工夫を積極的に取り入れる。</p>	<p>より深く教材を研究し、生徒の知的好奇心をかき立て、考えを深めるような発問を工夫することによって、生徒の主体的な学びを実現させる。</p>	<p>生徒一人一人が安心して生活し、学習をはじめとした学校生活に集中できる学校づくりのために、特別の教科道徳の指導内容を工夫し、またアンガーマネジメントについて学ばせ、お互いを尊重し合える集団作りを実現する。</p>